

豊臣時代 を読み解く

「絹本著色豊臣秀吉像」の修理と 大坂城CG復元の最前線

2026年はNHK大河ドラマの放送によって豊臣秀吉や秀長、さらに彼らが生きた時代に注目が集まっています。今回のまちなか大学では、豊臣兄弟に関係する文化財の魅力について、普段あまり目にすることのない裏側から迫ります。

2019年から約2年をかけて保存修理が行われた「絹本著色豊臣秀吉像」(所蔵 公益財団法人 宇和島伊達文化保存会)は、修理の過程でどのような発見があったのでしょうか。秀吉が築いた大坂城天守は1615年の大坂夏の陣で焼失します。織田信長の安土城天主に勝ると称された絢爛豪華な勇姿はどのように復元され、CG(VR)となるのでしょうか。それぞれの専門家が普段あまり目にすることのない、研究・修理・制作の過程についてお話しします。



安藤 裕之

Ando Hiroyuki

宇和島市教育委員会
文化・スポーツ課 主査(学芸員)
広島大学大学院文学研究科修了。文化財学を学び古建築と仏教絵画を専門とする。宇和島市では主に有形文化財を担当し、宇和島城天守の保存活用計画を執筆している。



妻鳥 奨

Mendori Shou

株式会社タニスタ 本部／事業所
技術統括部長 取締役
歴史番組の建造物CG制作などを手掛ける。現在はその技術を活かし、行政委託による独自の歴史CGコンテンツ制作など、多角的な映像展開を行っている。



佐藤 大規

Sato Taiki

地域共創研究センター
愛媛大学社会共創学部准教授
専門は天守など城郭建築をはじめする日本建築史。復元研究を行った信長の安土城天主や秀吉の大坂城天守は、「歴史探偵」(NHK)でCGとなり放映されている。



コーディネーター
井口 梓
Iguchi Azusa
愛媛大学
地域共創研究センター長
愛媛大学社会共創学部教授

2026 **9.4** FRI 18:00
(金) 20:00

愛媛大学E.U. Regional Commons
(ひめテラス) 1階・NP地域交流ルーム
(地域交流スクエア)

対面40名(先着順)／WEB同時配信(ZOOM)

**参加
無料**

申し込みは
こちら



Facebook



◆申し込み方法 2026年9月3日(木)メチ
本チラシの二次元バーコード、又は愛媛大学地域共創研究センターHP
(<https://rcrc.cri.ehime-u.ac.jp/>)の「まちなか大学vol.3」の告知ページよりお申込ください。

◆問い合わせ E-mail: rcrc_cri@stu.ehime-u.ac.jp (地域共創研究センター)
Tel: 089-927-8145